



# 躍動の会

県議会議員団  
県政報告

2026年3月号



明石市

岸口みのる

きしくち

- 神戸大学大学院法学研究科博士前期課程修了
- 社会福祉法人美友会理事長
- 高麗大学客員教授
- 兵庫県監査委員

## 誠実な政治を行う覚悟。

兵庫県は、深刻な構造的課題に直面しています。今、求められているのは、課題に正面から挑み、未来を切り開く攻めの県政です。

「躍動の会」は、県民や企業との対話を重ね、子育て支援、産業振興、地域活性化、防災対策、医療・福祉の充実など、あらゆる分野で県民の声に応える施策を提言してきました。このほど、第374回定例県議会で可決した令和8年度予算では、多くの提言を反映することができました。今後とも齋藤知事の行財政改革を力強く後押し、兵庫県の持続的成長と活力創出を追求します。特に財源確保では、攻めの姿勢で新たな歳入源を積極的に開拓します。県民が誇りを持てる「躍動する兵庫」を共創するため、誠実な政治を行う。それが私たち「躍動の会」の覚悟です。皆さまのご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 令和8年度兵庫県 重点施策

### 「躍動する兵庫」 希望をつなぐ、未来をつくる

令和8年度兵庫県当初予算は総額で4兆5303億円（対前年度当初比プラス0.3%）、このうち福祉や教育など県の基本的な事業に使う一般会計は2兆3182億円（同マイナス1.7%）で、「躍動する兵庫」希望をつなぐ、未来をつくる」を目指し、県政を推進していきます。

### 若者・Z世代応援パッケージを充実・強化

重点事業の第一が「若者の可能性を拓く」。総務省が2月3日に公表したデータでは本県の令和7年転出超過数はマイナス2,102人で、前年令和6年（マイナス7,287人）からプラス5,185人と大幅に改善しました。対前年比の増加数は全国1位で、特に増加数の大きいのはファミリー層（プラス2,256人）と20歳代（プラス2,217人）で、転出超過数の全国順位は令和6年の45位（ワースト3位）から18位に上昇しました。令和6年度からスタートした若者・Z世代応援パッケージが一定寄与したとも考えられます。この流れをさらに加速するため、3年目迎える若者・Z世代応援パッケージの取り組みを充実・強化します。



### 平和の祈りを胸に

11月21日、兵庫県遺族会・兵庫県主催の「のじぎくの塔」「島守の塔」慰霊祭に参列いたしました。沖縄戦で亡くなられた兵庫県出身の方々、そして島田叡元沖縄県知事（兵庫県出身）をはじめとする県職員の方々へ心からの慰霊と感謝を捧げました。

兵庫県と沖縄県が手を取り合って平和を祈るこの想いを胸に、これからも県民の皆さまのために頑張ってまいります。

令和8年度県当初予算には、そのような決意が込められています。写真：右から岸口議員、齋藤知事、増山幹事長、白井政調会長

### 学びやすい

#### 県立学校の更なる環境の充実

- ・体育館・食堂等の空調整備や授業・部活動の用具等を整備

#### 私立学校における緊急修繕を支援

- ・酷暑・防犯対策など、各校のニーズに対応する施設等の修繕に対して支援

#### 県立高校の魅力の再構築

- ・魅力・特色の磨き上げや探究活動等を充実

#### 教育費等の負担軽減

- ・県立大学の授業料無償化。令和8年度より全学年対象

### 住みやすい

#### 子育て世帯への住宅支援

- ・通学路におけるカラー舗装の更新を加速

### 子どもを産み育てやすい

#### 妊娠・出産支援の充実

- ・遠方の産科医療機関等で出産等が必要な妊婦等に通院交通費を支援
- ・助産所等の出産・産後ケア施設に対する設備整備を支援

#### 課題を抱える子ども・若者への支援

- ・「不登校児童生徒支援員」の全校配置



#### 子ども・子育て支援の充実

- ・地域限定保育士試験の実施など人材確保の充実
- ・ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センター（仮称）を設置

### 働きやすい

#### 次代を担う多様な人材の確保と就労支援

- ・企業・施設等と連携したケアリーパー自立支援

# 第374回 2月定例県議会を開催

2月17日～3月25日



齋藤知事は、2月定例議会開会日に令和8年度の県政方針を表明しました

## 将来世代に胸を張って引き継げる兵庫を築く

第374回2月定例兵庫県議会が2月17日から3月25日までの37日間にわたり開かれました。令和8年度兵庫県当初予算案、令和7年度補正予算案、人と環境にやさしい農業・農村振興条例、県政改革方針の変更など重要案件を審議し、可決しました。

開会日の2月17日、提案説明に立った齋藤知事は、「阪神・淡路大震災から30年、先の大戦の終結から80年という節目を迎えた昨年は、今を生きる私たちも、将来世代に誇れる兵庫を築かなければならないとの思いを新たに1年でした。いま私たちが選ぶ判断と行動が、未来の兵庫を形づくり。これから生まれてくる将来世代の暮らしにも想像力を働かせ、希望を手渡していく」と述べ、①将来にわたる安全安心の礎づくり②地域の力と誇りの創出③未来から託された資産の保全・継承④財政健全化と未来への投資の両立一の4つの視点を挙げ、「将来世代に胸を張って引き継げる兵庫を築くため、県政を着実に推し進めてまいります」と令和8年度の県政運営への決意を表明しました。

### 一般質問

### 岸口みのる議員

2月26日の一般質問では、躍動の会から岸口みのる議員が登壇いたしました。質疑の概要は次の通りです。

#### 1. 自主財源の確保について

- Q 歳出削減中心の財政運営から一歩進め、事業ごとに必要な財源を確保する仕組みを導入すべき。
- A クラウドファンディング型の寄附募集などの検討など、自主財源のさらなる確保に全庁あげて取り組む。

#### 2. 地域医療資源の確保及び再編について

- Q 住民に最も身近な一次医療を担う民間病院や診療所の維持への支援拡充を。
- A 各圏域で開催される地域医療構想調整会議で議論を深め持続可能な医療提供体制の構築に取り組む。



#### 3. より選ばれる兵庫県立大学について

- Q 県立大学のブランディング向上の取り組みは。
- A 継続的に教育システムを見直し、ブランド力の向上に努めていくとともに、県内就職の定着を目指す。

#### 4. 選挙のDX化及び電子投票の検討について

- Q 選挙執行体制の持続可能性を確保するため導入を。
- A 実現に向けての研究を進める。

#### 5. 抗議行動への対応の強化について

- Q 事故防止に向けた措置を一層強化する必要がある。
- A 状況に応じ、法令に基づく適正な職務執行に努める。

## 「兵庫県迷惑防止条例の拡充を求める」請願審査

「兵庫県迷惑防止条例の拡充を求める」請願が躍動の会・岸口みのる議員の紹介で提出されました。「迷惑防止条例を拡充し、拡声器を用いて過度な騒音を発生させる行為を規制する」ことを求める内容です。採択すべき立場から討論に立った白井たかひろ政調会長は「兵庫県庁前歩道橋でのデモ活動には、近隣住民の生活環境、通学児童の安全、視覚障害者のための音響式信号機への影響など、具体的な課題が指摘されている。現行の迷惑防止条例でこれらの事案に十分な対応ができていない。表現内容には踏み込まないものの、拡声器による大音量行為を生活の平穏を害する行為として整理し、通学時間帯の安全配慮や移動安全の観点から条文上明確にするなど、時間・場所・方法に限定した合理的な規定を条例に追加すべき」と訴えました。不採択となりましたが主張を続けます。

### 増山誠 幹事長

### 令和8年度予算に賛成討論「豊かで強い国を創る模範」



3月23日の議会本会議で増山誠幹事長が令和8年度当初予算に対し、賛成の立場から討論に立ちました。増山幹事長は「令和8年度予算は『躍動する兵庫 希望をつなぐ、未来をつくる』方針が掲げられている。人口減少を受け入れ、マイナスを覆しプラスにするほどのイノベーションを起こし、未来を切り開かなければならない。日本が国際社会での影響力や、豊かな国民生活を維持するためには、まず兵庫が躍動し、希望をつなぎ、未来を創る必要がある。この意味において令和8年度予算が掲げる方針は豊かで強い国を創るために、各自治体が目指すべき方向性を兵庫県が先頭に立って指し示す模範ともいえる方針である」と訴えました。その後の表決の結果、原案通り可決されました。

### 補正予算で質疑

### 白井たかひろ 政調会長

長引く物価高騰への対応など県民生活の安全安心を確保するため、県では

緊急経済対策などを柱とした補正予算案を編成し、第373回12月及び第374回2月定例県議会に上程し、審議の結果、原案通り可決しました。第373回12月定例県議会では、補正予算案に対する質疑に白井たかひろ政調会長が登壇し、養殖マガキの大量へい死に対しての緊急的なモニタリングを踏まえた今後の展開について県当局の見解をたえました。原因究明に加え、生産者を支え、風評を払拭し、来期の創業につなげ、従業員の雇用を守っていくよう要請しました。



## 生活の安全を脅かす街頭宣伝活動の厳正な対応へ県警本部長に申し入れ

県議会の一般質問等でも訴えましたが、齋藤知事に対する街頭宣伝活動が近年エスカレートしており、県庁や小学校付近での大音量による騒音や通学路における児童の安全を脅かす行為や知事の公務先への執拗な追尾など、県民の皆様から多くの苦情が寄せられています。これらは「表現の自由」の名を借りた権利の濫用と言わざるを得ません。

効果的な対策が実施されていないため、昨年12月2日、躍動の会として小西兵庫県警察本部長に対し以下の内容で申し入れを行いました。

- ① 公共の福祉を考慮し権利濫用行為に対する厳正な対応
- ② 齋藤知事の身辺警護のさらなる強化

県民の体感治安の向上と知事の身の安全を確保するための早急な対策を求めてまいります。



申し入れを行う増山誠幹事長